

## 3-1. 自然環境の保全と創造

### (1) 現況と課題

本町は宇都宮市に隣接して宅地化が進行していますが、土地利用は農地が60%を占めており、田園地帯が残されています。田園地帯には屋敷林が点在して、地域固有の景観を生み出しています。さらに、東部台地、サギノヤ地区の森林や御料牧場などがあり、個性ある豊かな自然環境を備えています。

こうした恵まれた自然環境の保全活動や、環境学習を中心に行う拠点施設として、「エコ・ハウスたかねざわ」を整備し、町民の環境問題への関心を高めてきました。しかし、本町の恵み豊かな自然環境を守り、育み、将来に引き継いでいくためには、専門的な視点から自然環境の全体像を把握し、計画的に自然環境を保全することが必要になっています。自然環境と共生する町づくりの実現に向けて、高根沢町環境基本条例に基づき、環境基本計画を町民とともに作り、自然環境の保全と創造を進めることが必要になっています。

### (2) 5年間の政策目標

- ①自然環境と共生する町づくりを実現します。
- ②自然環境を保全し、創造するため、住民活動のリーダーとなる人材を育成し、地域での取組みを推進するとともに、それぞれの活動をより充実するためのネットワークを構築します。

### (3) 施策

#### 3-1-1. 環境基本計画の策定と運用

高根沢町環境基本条例に基づき、本町の環境保全と活用の指針となる環境基本計画を策定し、小中学生を中心に本町の自然環境の現状を把握する自然環境基礎調査（指標生物調査）を実施します。また、住民が主体となった雑木林の整備や河川の清掃活動などを支援する自然環境保全事業を実施します。

指標	平成16年度	平成18年度
環境基本計画の策定	未策定	策定

#### 【事業】

- 環境基本計画の策定と運用
  - ┆ 自然環境基礎調査事業費
  - ┆ 自然環境保全事業費
  - ┆ 公害対策事業費
  - ┆ 生活環境保全事業費
  - ┆ 地球温暖化対策事業費

#### 【関連施策】

- 1-1-4 良好な景観の形成      1-5-3 水処理施設の拡充      4-1-4 農村地域の再生と活力ある農村の創造

#### 3-1-2. 環境保全に取り組む人材の育成

自然環境基礎調査（指標生物調査）や環境基本計画の策定、「エコ・ハウスたかねざわ」における地球温暖化対策、省エネルギー教室などの環境学習、自然の素材を使った工作教室など体験メニューの開発・実施に携わる住民を、地域の環境保全活動のリーダーや環境学習の指導員として育成します。

### 3-1-3. 緑地等保全活動の推進

緑地等の保全の重要性に関する広報活動を充実させるとともに、主に地域固有の田園景観の保持に大きな役割を果たす屋敷林や、生物多様性の維持に大きな役割を果たす東部台地やサギノヤ地区の森林を対象に、土地所有者の協力を得つつ緑地保全契約を締結していきます。さらに土地所有者の協力と住民の支援を得ながら、一定規模以上の緑地保全契約地を身近な自然とのふれあいの場として整備し、活用する手法を検討します。また、水田地帯の水辺環境の適切な保全や復元手法、休耕田の湿地ビオトープ\*としての活用などの創造手法を検討します。

## **(4) 効率化目標**

### ①「エコ・ハウスたかねざわ」の運営管理の効率化

「エコ・ハウスたかねざわ」の事業の維持・発展を図りつつ、さらに地域に根ざした活動を展開するために、運営管理する環境NPO法人\*を育成、支援します。

指標	平成 16 年度	平成 20 年度
環境NPO法人*の設立	未設立	平成 20 年度中設立

## **(5) サービス向上目標**

・大学や企業との連携を深め、有識者による環境問題に関する講演を開催するほか、環境学習や体験メニューについても助言や提言を受け、より充実した事業を提供していきます。